

胃がん検診を受診される方へ

～バリウムを飲んだ後の重い副作用を防止するために～

- 検査後、バリウムが長時間腸内に残っていると、だんだん硬くなり、排泄しづらくなります。そのため、まれに消化管穿孔（消化管に穴が開く）、腸閉塞（消化管にバリウムがつまる）、バリウム腹膜炎などの重い症状を引き起こすことが報告されています。

また、高齢者の場合、より重篤な経過をたどることがありますので、検査後にできるだけ早くバリウムを排泄させるため、以下の点に注意してください。

- (1) 受け取った下剤は、検診終了後早目に（すぐに）できるだけ多くの水で飲んでください。なお、保健センター内で内服される方は、各自で水分をご用意ください。
- (2) 下剤を飲んだ後も、できるだけ多くの水分を摂って下さい。
- (3) 便意を感じなくても、定期的にトイレに行くようにしてください。
- (4) 検査後は、便の状態を確認していただき、24時間経過してもバリウム便（白～黄土色の便）が全く出なく、腹痛を伴うようであれば速やかに医療機関を受診してください。また、検診の翌日の朝になっても排便がない場合は、腹痛を伴わなくても医療機関を受診してください。